

はじめに

児童生徒のインターネット接続機器の所持率は年々高まる傾向にあり、これに伴い児童生徒のSNSなどのコミュニケーション（LINE等）の利用も広がっている。そこでは、SNSの利用を起因とした友人関係のトラブルが「ネットいじめ」にまで発展する事態も起きており、学校はその対応に苦慮しているのが現状である。しかし、一方では、禁止するだけの指導ではなく、相手と良好な関係を築くSNSの利用を考えさせる指導や家庭内のルール作りに取り組む学校もある。これからインターネット接続機器がますます普及していく社会において、学校は発達段階に応じた情報モラル教育の充実とともに、豊かな人間関係づくりに取り組み、情報化社会をたくましく生きる児童生徒の育成に取り組んでいく必要がある。

本県の公立学校を対象にした「平成28年度インターネット利用等に関する調査」によると、平日にインターネットを2時間以上利用している児童生徒の割合は、小学生で12.1%、中学生で29.5%、高校生で42.0%であった。「最も長い時間利用しているインターネット利用の内容」を見ると、小学生は1位「ゲーム」、2位「音楽・画像・動画の閲覧」、3位「学習活動」で、中学生は1位「音楽・画像・動画の閲覧」、2位「SNSなどのコミュニケーション（LINE等）」、3位「ゲーム」、高校生は1位「SNSなどのコミュニケーション（LINE等）」、2位「音楽・画像・動画の閲覧」、3位「ゲーム」であった。また、「インターネットを利用して感じること」として、「睡眠不足になった」と回答した小学生は2.6%、中学生は12.8%、高校生は19.6%で、「勉強に集中できないことがある」と回答した小学生は2.9%、中学生は15.5%、高校生は25.3%であった。インターネットの長時間の利用が、生活習慣の乱れや心身の不調などのいわゆる「ネット依存」の原因となり、さらに、児童生徒の多くが利用しているLINEやTwitterなどのSNSが「LINE外し」や「ネットいじめ」など、様々なトラブルの原因となっていると考えられる。

「鹿児島県教育振興計画」には、「変化の激しいこれからの社会を生き抜いていく上で、子供たちの規範意識を養い、他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力を育む教育を推進します。」とある。そして、具体的な施策の一つとして、「生徒指導の充実」を挙げ、その中で「インターネット等に関する問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に努めるとともに、情報モラルに関する教育を推進します。」とある。

したがって、学校は、いわゆる「ネット依存」やネットトラブルを早期に発見し、解消するために、全ての教育活動の機会を捉えて、豊かな人間関係づくりを進め、規範意識や他人を思いやる心等を育む指導・支援を積極的に進めていく必要がある。

本研究では、まず県内の児童生徒と教師を対象にした実態調査を行い、「豊かな人間関係づくり」における課題を明らかにし、SNS利用の影響を踏まえた「豊かな人間関係づくり」のための視点と組織的・計画的な取組を提示した。次に、児童生徒理解の深化を目指すために、従前の「学校楽しいーと」に加え、新たにSNS利用実態を把握する「SNSチェックシート」を開発した。最後に、研究協力校での実践を検証し、研究の成果と課題をまとめた。

本研究の成果が、学校で活用されることで、「ネット依存」やネットトラブルの未然防止と豊かな人間関係づくりが進み、一人一人の児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるようになることを期待したい。

【研究主題】

児童生徒の豊かな人間関係づくりに関する研究
－SNSの利用による友人関係への影響に着目して－

目 次

はじめに	61
第1章 インターネット社会の進展と学校が抱える課題	
1 デジタルネイティブ世代の児童生徒の現状と課題	62
2 SNS 利用における「豊かな人間関係づくり」の重要性	63
3 本研究のねらいと期待される成果	63
第2章 教師や児童生徒の SNS に関する実態調査の結果と考察	
1 教師が捉えている児童生徒の姿と人間関係づくりの取組状況	64
(1) 調査の目的	64
(2) 教師対象の実態調査の対象・調査内容・調査時期・調査方法等	64
(3) 教師対象の実態調査の結果	64
2 児童生徒の SNS 利用実態と学校適応感・友人関係との関連性の実態	68
(1) 調査の目的	68
(2) 児童生徒対象の実態調査の方法等	68
(3) 児童生徒対象の実態調査の結果	68
(4) SNS を利用する児童生徒と利用しない児童生徒の比較分析	70
(5) SNS を利用する児童生徒の傾向と特徴の分析	73
3 実態調査のまとめと考察	80
(1) 教師対象の実態調査について	80
(2) 児童生徒対象の実態調査について	80
第3章 「豊かな人間関係」の育成に向けた組織的・計画的な指導・支援の在り方	
1 SNS の影響を踏まえた「豊かな人間関係づくり」の三つの視点	81
2 サイクルで進める「豊かな人間関係づくり」	82
(1) 学級活動と個別のサイクルモデル	84
(2) サイクルモデルの点検と見直し	84
3 SNS の影響を踏まえた「豊かな人間関係づくり」のための児童生徒理解	85
(1) 児童生徒の実態を捉えるための SNS 質問紙「SNS チェックシート」	85
(2) 「SNS チェックシート」と「学校楽しい」とによる児童生徒理解	89
(3) 「SNS チェックシート」を利用したアプローチ	91
第4章 SNS の影響を踏まえた「豊かな人間関係づくり」の指導・支援の実例	
1 SNS の影響を踏まえた「豊かな人間関係づくり」の年間計画について	92
(1) 校種別年間計画の概要	92
(2) 年間計画を作成する上での重要なポイント	92
2 「豊かな人間関係づくり」の年間計画例（学級プラン・個別プラン）	93
(1) 小学校における SNS の影響を踏まえた年間計画例	93
(2) 中学校における SNS の影響を踏まえた年間計画例	96
(3) 高等学校における SNS の影響を踏まえた年間計画例	99
3 授業の実践例(中学校)	102
第5章 研究の成果と今後の課題	
1 研究の成果	105
2 今後の課題	105
おわりに	105
引用・参考文献	105